いちかわみさと 議会だより

第9号

2007年11月1日発行

○まって　わたしも

平成19年 9月定例会

町長減給で陳謝　2ページ
税の滞納が増大　4～5ページ
常任委員会の報告　6～7ページ
５議員が町政をただす　8～10ページ
税などの徴収に厳しい姿勢を　11ページ
ぼくの夢　わたしの願い　12ページ

〒409-3601　山梨県西八代郡市川三郷町市川大門1790-3　発行者／市川三郷町議会　責任者／議長　内藤　優　編集／議会広報編集特別委員会
TEL ： 055-272-1108　FAX ： 055-272-2525　MAIL ： gikai-m@town.ichikawamisato.lg.jp

町長減給で陳謝

「管理監督責任を痛感している」

第3回9月定例会

平成19年9月5日～14日

本定例会に提出された議案は、男女共同参画推進条例制定など16議案で、地域振興基金積立を含む平成19年度一般会計補正予算、平成18年度一般会計・特別会計決算の認定など、慎重審議をした結果すべて原案のとおり可決・認定しました。

一般質問は、5人の議員が町政全般について町の考えをただしました。

活力ある地域づくりのため

条例の制定

男女が互いにその人権を認め、だれもがまちづくりに参画していける社会をめざす**男女共同参画推進条例**と地域振興のための基金を設置する必要があることから**基金条例**をそれぞれ制定しました。

男女共同参画推進条例

男女共同参画の推進について基本理念を定め、責務を明らかにするとともに、基本的施策を定め、やすらぎと活力のある男女共同参画社会を実現することを目的としています。

地域振興基金条例

本町における町民の連携の強化および地域振興のための事業費用に充てるため、地域振興基金を設置します。21年度までに16億円の積立てを予定しています。

収穫された新種のキウイフルーツ
（レインボーレッド）
（アグリビジネスモデル・トライアル支援事業）

条例の改正

神明の花火大会で、職員の不適切な事務処理、会計管理があったことに対して、管理監督責任を痛感し、3ヶ月間10％減額となる**町長等の給与および旅費条例**の改正をしました。ほか、2条例の改正を可決しました。

契約の締結

一般競争入札に付された**市川東小校舎改築工事**は、2億3047万5千円（税込み）で、**三井建設工業・興龍社共同企業体**が落札。契約の議決を求める議案が提出され可決しました。

一般競争入札参加者一覧

長田組土木・藤島建設JV※
日経工業・北清建設JV
三井建設工業・興龍社JV
国際建設・進藤建設JV
齊藤建設・宝建設JV
早野組・一瀬工務店JV
樋川建設・昭和建設工業JV
宏和建設・佐野工務店JV

落札価格など(税抜き)

予算額　2億4,815万6千円（税込み）
予定価格　2億2,300万円
落札価格　2億1,950万円

※ JV＝共同企業体

神明の花火大会 不祥事を問う

総括質疑

問　一瀬　正

神明の花火大会の不祥事は、大会の中止や町長の政治生命にかかわる事件と危惧する。責任をどのように認識しているのか。

答　町長

私の管理監督責任。原因を究明し、再発防止に努める。多くの関係者に心からお詫びするしかない。お許しをいただき大会を続けさせていただきたい。

税の徴収体制は

問　秋山詔樹

監査委員に、17年度指摘されたことが、実行されていないのはなぜか。

答　町長

監査委員の所見を受け、滞納処理には、差し押さえなど厳しい取り組みをしていく。

問　秋山詔樹

徴収対策本部準備委員会の設置はいつからか。機能しているか。

答　町長

8月から。関係課が連携して徴収のため早急に機能するようにしたい。

私たちの身近な予算

地域振興基金５億円

３年間で16億円積立

（万円未満は四捨五入）

平成19年度一般会計補正予算

●収入支出の補正額は

補正額　５億6,678万円
総　額 90億3,209万円

おもな内容

・福祉に使うお金

自立支援システム改修委託料追加　200万円
過年度分国庫支出金額確定に伴う償還金追加　186万円
身体障害者福祉法関係扶助費追加　83万円
つむぎの湯温泉水中ポンプ入替および修繕費　594万円

・防災に使うお金

防犯灯設置工事費追加　80万円
非常備消防費追加
（消防団用ヘルメット・カッパなど）　88万円

・まちづくり・商工に使うお金

地域振興基金積立金　５億円
郷土伝統工芸品振興対策補助金追加　46万円
市川三郷町合併記念事業費　39万円
コミュニティバス
運行委託料追加　1,085万円
運行経費減額　△203万円
燃料費減額　△271万円
補助金減額　△533万円

コミュニティバス六郷線（鰍沢口駅前）

・農林業に使うお金

圃場整備換地業務委託料追加（大塚・川浦地区）　378万円
用水路樋門補修等修繕費追加（高田地内）　247万円
用水路修繕工事費（中山地内）　250万円
排水路修繕工事費（堀込地内・落居山田地内ほか）　360万円
分収造林事業費追加　89万円
※アグリビジネスモデル・トライアル支援事業補助金　50万円
矢坂農道改良工事費減額　△900万円

・土木に使うお金

町道歌舞伎公園線改修工事費追加（6ヶ所）1,800万円
防災工事調査計画委託料（山保地内）　580万円
町道維持管理原材料費など追加　700万円
町内水路維持修繕工事費追加（3ヶ所）　540万円
工事請負費減額（籠鼻川浦線・岩間久那土線・町屋川浦線）　△2,928万円
土地購入費減額
（岩間久那土線用地・町屋川浦線用地）　△610万円
補償金追加（籠鼻川浦線・岩間久那土線・町屋川浦線）　3,553万円

工事中の籠鼻川浦線

・学校教育・社会教育に使うお金

関東・全国大会選手派遣費補助金　139万円
川浦スポーツ広場トイレ改修工事費　175万円
電解酸化水生成装置など修繕費追加（給食センター）　49万円

・その他

法人町民税還付金・加算金　188万円
簡易水道特別会計繰出金減額　△114万円
公共下水道事業会計繰出金減額　△345万円

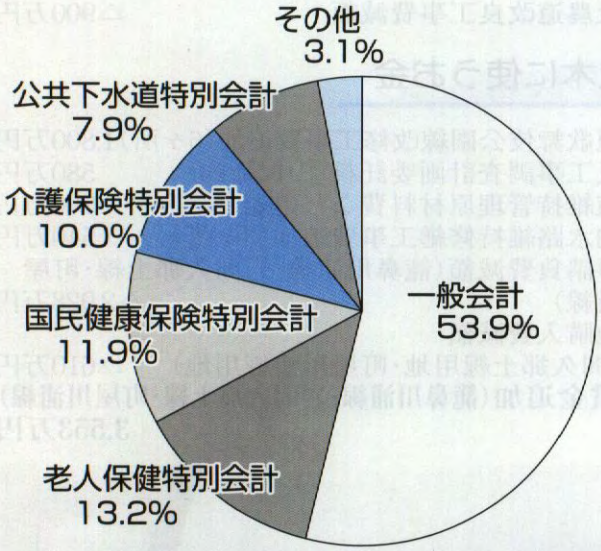
※産地計画の実現や、産地にある素材を活かした新しい商品の定着を図るための支援事業

めること

達雄両監査委員から
算の決算審査意見書が提出されました。

会計別の内訳

（総額　158億20万円）



上水道事業会計

より経営効率向上を

収益的収支では、5,412万円の純損失で、前年度繰越欠損金と合わせた当年度未処理欠損金1億597万円となっている。

この主な要因は、営業費用、減価償却費および老朽施設の修繕などに伴う事業費用の増加によるものである。料金改定は実施しても欠損金は解消されず、今後、より一層の経営効率向上を図り、経営状況の健全化とともに、安全で良質な水の供給に努めること。

町立病院事業会計

町立病院

再建プロジェクト立ち上げを

未処理欠損金は２億７千万円

18年度の総収益は15億9,986万円、総費用17億2,438万円で、差引1億2,452万円の純損失、未処理欠損金2億7,004万円となった。このうち医業収益は、14億4,924万円、医業費用16億7,398万円で、2億2,473万円の医業損失であった。これは、医師不足の影響により、入院、外来ともに患者数が減少を続けていることが原因で、病院経営は大変厳しい状況にある。

このことから、今後の病院経営は、病院再建のためのプロジェクトチームなどを立ち上げ、あらゆる角度から検討に入ることが喫緊の課題である。

介護老人保健施設

独立採算制の原則重視

総収益は3億5,139万円、総費用3億3,317万円で1,822万円の純利益であったため未処理欠損金は7,399万円となった。

事業収益は2億8,943万円、事業費用2億9,301万円で差引357万円の事業損失が生じていることから、今後も独立採算制の原則を重視するとともに、経営能率を改善し、経費の削減を図るなか、欠損金の減少に努めること。

安全で良質な水の供給が求められる上水道の配水池

平成18年度決算認定

収入未済減少に努

監査委員意見書より

中澤　尚、井上
平成18年度決

収入総額	165億4,668万円
支出総額	158億　20万円
差引額	7億4,648万円

一般会計・特別会計

①　町税、国保税を合わせた収入未済額が多額となっている。

本年度の収入未済額は2億3,333万円で、前年比4,425万円増額している。17年度に指摘したことが、ほとんど反映されていないと言わざるを得ない。滞納処分も全くおこなっておらず、預貯金調査１件のみである。

多額の収入未済は行政運営に多大な影響をおよぼしていることは明白である。設置した徴収対策本部準備委員会を早急に機能させるとともに、全職員が事態を重く認識し、収入未済額の減少に努めること。負担金および使用料についても同様である。

②　不納欠損処分についても17年度で安易な処分とならないよう指摘したが、本年においても処分の理由に正当性がなく、安易な処分が見受けられる。納税意欲、住民負担の公平性に悪影響を与えているものと危惧している。

今後の不納欠損処分については、滞納者の生活状況などを十分精査し、納税意欲、住民負担の公平性を損なわないようにすること。

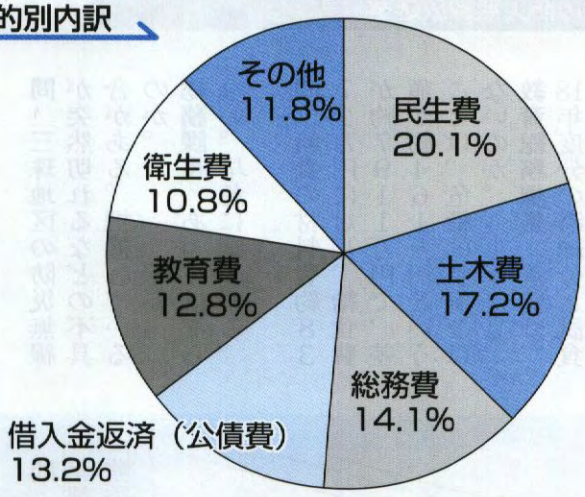
③　経常収支比率が84.1％と高く、財政構造の弾力性は失われていることから、全職員が危機意識をもち、原因を究明し、経常経費の抑制に努め、健全な財政運営を図ること。

④　実質公債費比率が18.3％と高くなっていることから、今後、地方債を財源とする事業に当たっては、費用対効果などを十分に検討し、活用すること。

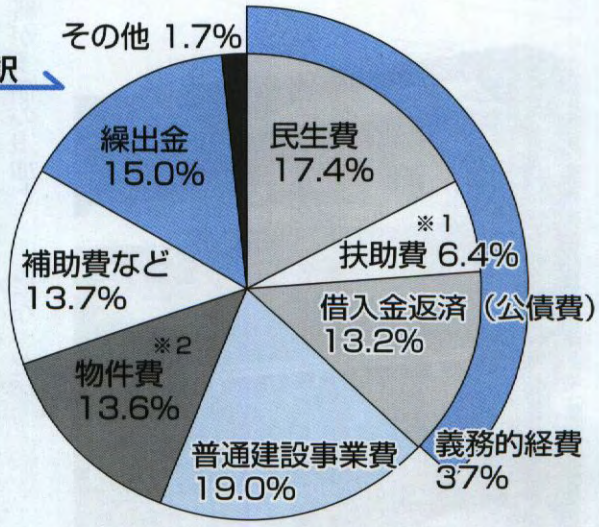
一般会計支出の内訳

（総額　85億2,450万円）

目的別内訳



性質別内訳



※1　**扶助費**　生活保護費や児童手当などの住民扶助費
※2　**物件費**　消費的性質の賃金、旅費、交際費など

常任委員会報告

質疑の一部を要旨のみ掲載します。

総務教育常任委員会

問　男女共同参画推進条例を制定することによって住民生活に負担をかけないか。

企画課長　国の法律が施行され制定するもの。推進員の皆様が本町に合った条例に仕上げた。負担にはならない。

問　コミュニティバスの六郷地区からの運行は、町立病院まで乗り入れを検討しているのか。

町長　道路運送法で厳しい部分はあるが、努力していく。

本庁舎の防災無線放送室

問　賦課徴収費では、還付加算金は支払っているが、延滞金は徴収しているのか。

税務課長　現在徴収はしていない。生活困窮者を除いて延滞金を課す。

問　固定資産税の滞納額約8325万円のうち、法人個人の内訳は。

税務課長　法人16社、個人452人、法人の最高滞納額は300万円超である。

問　今後、財産を差し押さえてでも徴収していくのか。

町長　生活困窮者は別として、差し押さえなどを含めた対応をする。

問　ふるさと夏祭り実行委員会の運営費の不適切な扱いについて、調査委員会に現在の産業振興課長が含まれないのはなぜ。

町長　同課長は、調査を受ける側である事を考慮し、メンバーから外した。

問　三珠地区の防災無線が突然切れるなどの不具合がある。把握しているのか。

総務課長　あってはならない。早急に調査する。

問　給食の材料費約8372万円に対し、給食費が約7911万円で、差額が約461万円ということは、危機的状況ではないのか。

教育総務課長　差額は、18年度分の滞納分と試食・検食分であり、滞納額の減少に鋭意努力する。

厚生常任委員会

問　平成18年度のふれあいペンダントの通報件数は何件あったのか。

福祉支援課長　全件数は81件であり、内訳は誤報が73件、緊急通報が8件で、救急車の出動は7件であった。

問　直営診療所の医師の交代に伴い患者数への影響はあるのか。

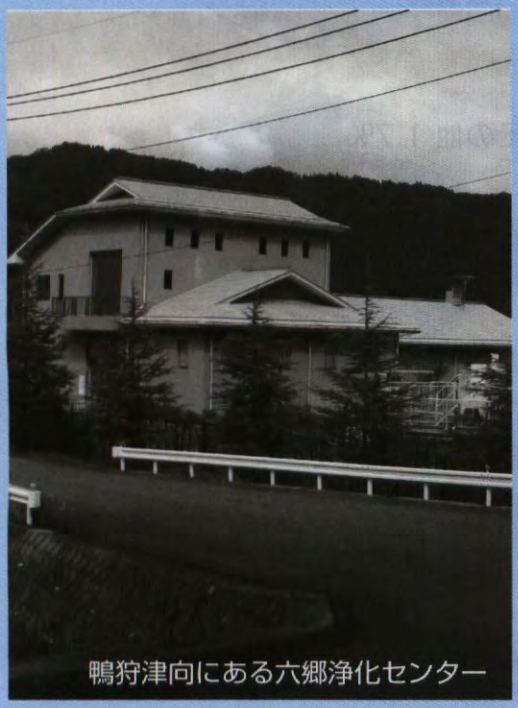
町民課長　一週間を3人の医師で診察しており、患者数には影響しない。

問　六郷浄化センターの薬剤費および汚泥搬出業務委託料が多額の追加となっているがその理由は。また、契約方法は。

生活環境課長　流入量増加に伴い不足が生じたためである。契約は複数の業社から見積書を取っている。

問　国保特別会計の不納欠損処分で、行方不明31件、金額は171万円だが、追跡調査を町民課との連携でおこなったケースはあるか。

税務課長　連携をもっての調査はこれまでなかったが、住民登録と実態が一致せずこのような結果になった。


鴨狩津向にある六郷浄化センター

常任委員会開会日

総務教育常任委員会	9月7日
厚生常任委員会	9月10日
土木産業常任委員会	9月11日

土木産業常任委員会

整備された柿の木の辻（市川大門地区一丁目）

問　文化と武道の館の人件費が本年度は大きく減額となるが、その理由は。

産業振興課長　嘱託職員から臨時職員に切り替えたためである。

問　柿の木の辻（水辺の空間）整備工事は、知らない人が多いので、整備の趣旨を伝え、今後のまちづくりの参考にしたらどうか。

建設課長　非常に良い意見だと思うので、この公園が町民の皆様に幅広く有効に利用されるように図っていく。

問　キウイフルーツの箱のデザインを考える補助に50万円とあるがそれは新品種のものか。

産業振興課長　新品種で去年から出荷、成長が早いので今年はまとまった量を出せると思う。

問　松くい虫の防除に、追加予算があるということは薬剤注入では満足に防除できないのか。

産業振興課長　当初予算では、薬剤注入の分を計上していなかった。今回薬剤150本使い、39本の松に注入する。

問　有害鳥獣捕獲謝礼等報償費の追加はどういう用途か。

産業振興課長　今回は捕獲実績に対する謝礼で、予算は30頭分、1頭1万円である。

問　岩間久那土線について地域住民から当初と目的が違うとの声があるが。

建設課長　六郷ICへのアクセスは、県と町で実施し、つながるような線形になっていてアクセスできる。

問　「つむぎの湯」に指定管理者制度を導入することについて、「みたまの湯」と「つむぎの湯」の管理者を同じ業者にしたらどうか。

町長　そういう話もある。「つむぎの湯」を指定管理者制度に移行するには高いハードルがある。直営でもう少し進めなければならない場合もある。

問　簡易水道特会で使用料の収入未済が多いが、長期、多額滞納の例はあるのか。

生活環境課長　平成12年からの滞納で約53万円となっている方がおり、現在給水を停止している。

問　公共下水道特会で、分担金・負担金の収入未済額が65％に達しており、納入促進はどのように図っているのか。

生活環境課長　督促状の発送と戸別訪問による滞納整理をおこなっている。

問　病院会計で当年度未処理欠損金が約2億7千万円、起債の未償還残高約6億6千万円である。耐震および経営診断の結果を見て、経営方針を決めるのでは遅すぎる。

町長　耐震診断の結果危険であれば閉鎖し、他の病院との連携も考えられる。経営診断の結果を踏まえて、規模を縮小して建て替える方法もある。

平成19年度公共下水道特別会計補正予算、平成18年度決算の認定については、討論があり起立採決の結果賛成多数で原案のとおり決定しました。

後期高齢者医療制度に関する請願

請願人
山梨県社会保障推進協議会　会長　上所　洋
紹介議員　一瀬　正　村松武人

継続審査との報告があり、引き続き審査をすることに決まりました。

日豪EPA交渉に関する請願

請願人
食とみどり・水を守る山梨県民会議　議長　竹川和彦
紹介議員　三神貞雄　小林一史

採択との報告があり、関係機関へ意見書の提出をしました。

議員発議

道路特定財源の堅持に関する意見書の提出

提出者
土木産業常任委員会　委員長　八木　勝

関係機関に意見書の提出を決定しました。

一般質問「町政をただす」

町の行政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信をただします。

ここが聞きたい!

この町の姿を永遠に

●5人の議員が質問

掲載は要旨のみとします。
議事録は議会事務局で閲覧できます。
顔写真は年1回初回のみとします。

高校の耐震改修は待ったなし

一瀬　正

問　町として、市川高校校舎改築を県知事及び県教育委員会へ要求していく考えはあるか。

町長　市川高校を育てる会や議会の市川三郷町に存続させる会と協力し存続に取り組む。危険校舎問題は高校再編が解決してからではなく、早急に耐震診断の実施と改築を要望していく。

問　国保財政調整交付金の過大交付分の返還問題に対し、町長はどういう方針か。

町長　返還金に対する財源を税に求めない。返還額の確定と、県の最終支援策を受けてから決定するが、財政調整基金を取り崩して一括返還し、長期的な計画の中で、適正な保有額に近づくよう積み立てをしていく。

問　住民税大増税に対し、減免制度を活用した具体的事例はあるのか。

町長　本条の規定は、納税者の申し入れにより町民税を減免、町長の行政処分により納税義務を消滅させるものです。規定に基づく事例はない。

問　住民税増税に伴い、国保税増税が考えられますが減免制度を活用した具体的な事例はあるのか。

町長　18年度、減免の実績はない。現在発行されている被保険者資格証明書は、58世帯79名で、生活困難が理由で滞納している世帯はない。

問　商店街活性化のために行政と商工会が協力して、納税や各種委員の報酬など「あったかカード」や商品券の活用をしたらどうか。

町長　市川三郷商工会サービス店会で検討されていると聞いてる。先進事例を調査し、商工会と協議する中で、導入を検討する。

あったかカード

和紙の町の製紙試験場は

遠藤　浩

問　製紙試験場は本町以外の他県では、ほとんどが県立である。町は県と業界に呼びかけ、その処遇を議論すべき。

町長　昭和41年に整備され40年が経過し、建物・機器とも老朽化が進んでいる。伝統技術の手漉き和紙の体験工房などの施設を加え、再整備を図るべく助成制度を県とも協議し、関係者と検討の場を持ちたいと考えている。

町立製紙試験場

問　芦川の土砂堆積は災害の危険性と山紫水明の景観を考え、早急に撤去が必要だと考える。

町長　芦川は一級河川で県の管理となっている。かねてより峡南建設事務所に要望しているが、現地調査を行い、新年度予算に要求するとのこと。

問　中部横断道六郷インター周辺の開発は、重要なポイントとなる。無秩序な開発や景観上ふさわしくない建物など規制する対策が必要と思う。

町長　本町は景観行政団体となった。景観計画を策定し、六郷インター周辺も地域の実情にあった開発を進めていく。

問　小規模学校は安易に統廃合すべきではなく、その教育体制を充実させることが先決だと思う。単級・複式学級の教育にどのような考えがあるか。

教育委員長　町内の小中10校のうち一部を除きほとんどが単級です。生徒数も10名～30名前後で教師の受け持つ理想に近い形。町採用教員を配置し、複式学級解消に努力している。

問　管内小中学校の冷房装置設置を急ぐべき。

教育委員長　耐震補強、改修・改築等財政上厳しい状況にある。逐次実施していく。

峡南市構想はあるか

村松武人

問　①峡南市（仮称）構想の実現を公約として当選した増穂町長から話があったのか。
②この構想についての考えは。

町長　①具体的な話はないが、あれば聞く。
②合併後2年間、第一次総合計画ほか各種計画の策定をし、基礎づくり、新町としての一体感醸成に全力で取り組んでいる。合併を考えるときには民意を最優先し、町民の意見を聞く中で考える。

問　地域防災について、町有施設の耐震診断と、一般建物の木造住宅耐震診断支援事業の進行状況、診断結果、今後の方針は。

町長　学校施設では6施設が診断を必要とし、その結果による補強工事を完了した。体育館は3施設が該当し1施設が補強完了。2施設は平成20年から21年に補強を計画している。大塚の町民体育館は、今年度診断を行う予定。他の公共施設は、34の内6施設が該当するが調査の上、耐震補強か建て替えかの判断を早急に行う。

問　災害発生時の食料・飲料水および生活必需品は、どの程度備蓄があるのか。

町長　計画的に増やしていくが、想定される被災者数の食料備蓄は、不十分であり、各家庭で3日分の確保をお願いしている。飲料水は可搬式ろ水器を整備していく。

木造住宅耐震診断事業
平成16年度10件
平成17年度60件
平成18年度40件
平成19年度30件(予定)
耐震改修
平成19年度１件(募集中)

本庁舎にある防災備品の一部

環境問題への取り組みを町民運動に

宮崎博巳

問 環境に対する取り組みを町民運動として実施しては。

町長 市町村が主催するエコ対策事業などはないが、NPOなどの団体が主催する事業は数多くあるので、できるだけ紹介していく。※1また、本年度より、環境基本計画と地球温暖化対策実行計画の作成に取り組んでいる。エコバッグについては旧三珠町での実績もあり、補助なども検討していく。

エコシステム搭載の青色パトロール車

問 公金の支払いをコンビニエンスストアなどでの納付を。

町長 町民が納付しやすい環境を整えることで、納付率向上につながればこの上ないことであり、便利と思う。しかし、峡南6町による峡南計算センターで町税納税通知書などの作成をしているので、収納代行手数料などの行政コストも生じる。収納率向上と費用対効果を検討する必要がある。

問 ※2がんばる地方応援プログラムの取り組みは。

町長 総務省は本年度より地方応援プログラムを創設した。国は地方交付税により支援措置費3千億円をもとに、1市町村につき3千万円を上限として、3年間まで措置することになっていて、本町も現在第2次の応募に向けて準備を進めている。

※1 **環境基本計画**
エネルギー削減のための具体的な取り組み、事業所や家庭に推進する。

※2 **がんばる地方応援プログラム**
やる気のある地方が魅力ある地方に生まれ変われるように創設された支援事業。

総合計画の進ちょく状況は

赤池貞親

問 総合計画で、業務管理手法に基づいて進めるとあるが、現在の進ちょく状況は。

町長 実施計画の見直しを11月としており、現時点では全体を把握していない。見直しの手法は総合計画のとおり、※PDCAサイクルの考えに基づいて進めていく。

問 地域防災力向上策の具体的な方法は。

町長 区単位で自主防災組織を構成し、役割分担を明確にして、組織力の向上を目指す。訓練を重ねていくことが、地域防災力の向上につながる。

問 町立病院の地域医療体制充実事業の推進状況について経営診断、病院のあり方などの進ちょく状況は。

町長 診断業務は、3月末日を目標としている。進ちょく率は80%程度である。診断結果を踏まえ、病院のあり方を検討する。

問 医療機器などの整備事業計画の進ちょく状況は。

町長 高度な質の高い医療を提供していくために、最新の医療機器や耐用年数が経過した機器の更新などは、計画的におこなっている。

問 病院の内部環境調査の進ちょく状況は。

町長 病院でも医師不足が生じているが、町民の健康保持と中核病院としての使命を果たすべく努力している。医師の確保に全力で取り組み、地域医療を充実したい。

最新の透析用監視装置

※PDCAサイクル
Plan立案、Do実施、Check点検、Action改善を繰り返す管理手法

税の徴収方法に問題あり
厳しい姿勢を確認

討論

審議結果

・平成19年度一般会計補正予算の専決処分	承認
・男女共同参画推進条例の制定	可決
・地域振興基金条例制定	可決
・政治倫理の確立のための市川三郷町長の資産等の公開に関する条例中改正など２件	可決
・平成19年度一般会計補正予算	可決
・平成19年度国民健康保険特別会計補正予算	可決
・平成19年度介護保険特別会計補正予算	可決
・平成19年度簡易水道特別会計補正予算	賛成多数
・平成19年度公共下水道特別会計補正予算	可決
・平成18年度一般会計・特別会計決算認定	賛成多数
・平成18年度上水道事業会計決算認定	承認
・平成18年度病院会計決算認定	承認
・町道路線認定	可決
・町長等の給料および旅費条例中改正	可決
・市川東小校舎改築工事請負契約の締結	可決
・後期高齢者医療制度に関する請願	継続審査
・日豪ＥＰＡ交渉に関する意見書の提出	可決
・道路特定財源の堅持に関する意見書の提出	可決

平成19年度公共下水道事業特別会計補正予算

反対　一瀬　正

汚泥搬出などの費用が急激に増加しているが、質問のたびに答弁が食い違い、行政姿勢に問題があるので反対する。

賛成　宮崎博已

答弁には、理解に苦しむ所もあったが、その後のくわしい説明で納得した。よって賛成する。

（賛成16　反対1）

平成18年度一般会計特別会計決算認定

反対　一瀬　正

町税をはじめ全てで徴収不備。支払能力のある人に対する徴収方法に問題がある。全力を挙げて取り組む姿勢がない。

賛成　赤池貞親

出納閉鎖後の徴収もあり努力がうかがえる。今後町では、徴収対策委員会を機能させ、厳しい法的手法を踏む姿勢がある。よって賛成する。

（賛成16　反対1）

後期高齢者医療　広域連合議会はじまる

一部事務組合議会の報告

ゴミ処理や火葬場などの事務事業を、いくつかの市町村で共同処理をおこなっています。その事務事業のチェックを組合議会でおこないます。

平成19年度一般会計予算

歳入歳出の総額
3億5,540万円
(内暫定予算8,878万円)

歳入
市町村からの負担金
3億5,500万円
(本町からの負担金　942万円)

歳出
職員20人分の人件費、広域連合システム機器の導入費。

広域連合広域計画の策定
広域連合および組織する全ての市町村が役割を担い、連絡調整を行いながら、後期高齢者医療制度にかかる事務を処理していくための指針として策定されました。

平成18年度一般会計予算

歳入歳出の総額	1,921万円
歳入	
国庫補助金	941万円
設立準備委員会	980万円
歳出	
事務室の改造費、机や椅子などの備品購入費。	

山梨県後期高齢者医療広域連合議会
第1回臨時会7月4日

初議会に伴う議長選において、甲府市の斉藤憲二氏が議長に、副議長に私、秋山詔樹が当選しました。

広域連合議会会議規則の制定、広域連合長の専決処分事項の指定をはじめ、専決処分の承認29件、広域連合広域計画の策定、平成19年度一般会計予算、人事案件3件が提出され、いずれも原案のとおり承認・可決および同意されました。

また、広域連合選挙管理委員会の委員および補充員の選挙もおこなわれました。

（報告　秋山詔樹）

峡南広域行政組合議会
第2回臨時会6月28日

今回提出された案件は、救助工作車および救助資機材の売買契約締結の一件で、原案のとおり可決されました。

（報告　村松武人）

救助工作車の契約

契約内容	指名競争入札
契約金額	5,660万円
(株)モリタ東京ポンプ営業部	(東京都港区)

救助用資機材を装備中の救助工作車

みんなのページ

原稿を募集します。

みなさまのご意見をお寄せください。

400字原稿用紙1枚以内、氏名(区名)・顔写真の掲載など詳細は、お問い合わせ下さい。
お問い合わせ:議会事務局　☎055-272-1108

ぼくの夢　わたしの願い

ジュニアコーラスいちかわ

小澤観織さん　市川小1年
おいしゃさんになりたい。びょうきのひとをなおしたい。

望月琴音さん　市川小1年
私のゆめは、あいすくりいむやさんになることです。

依田凪沙さん　市川小1年
わたしのゆめは、かんごふさんになることです。

池谷実莉さん　市川小2年
わたしのゆめは、うたを上手にうたうことです。

一瀬早紀さん　市川小3年
わたしのゆめは、ようちえんの先生になることです。

伊藤朱芙さん　市川小3年
小学校のせんせいになることです。

大久保沙都さん　市川南小3年
ピアニストになってえんそう会をひらきたい。

川口杏夏さん　市川小3年
わたしのゆめは、ケーキ屋さんになる事です。

北村　葵さん　市川南小3年
わたしのゆめは、パン屋さんになることです。

中込真子さん　市川南小3年
私のゆめは、ほいく園のほぼさんになる事です。

依田胡桃さん　市川小3年
わたしのゆめは、学校の先生になることです。

村松理奈子さん　市川小3年
わたしのゆめは、レストランでおいしいりょうりをつくる。

望月綾乃さん　市川小3年
水泳が上手になること。

依田沙季さん　六郷小3年
わたしの夢は、パティシエになることです。

池谷明莉さん　市川小4年
私のゆめは、かんごしになって、みんの役に立ちたいです

渡井里奈さん　市川小4年
わたしのゆめは小説家です。

遠藤初穂さん　市川小5年
わたしの夢は、医者になる事です。

渡辺裕斗くん　市川小5年
僕は、保育士になって市川に恩返しをしたいです。

大久保一輝くん　市川南小6年
ぼくは学校の先生になりたいです。

笠井暁穂さん　西嶋小6年
私は、将来ピアノの先生になりたいです。

斉藤奈々子さん　市川南小6年
夢は、動物にかんけいしている事とバイオリニストです。

村松琴美さん　鰍沢小6年
私の夢は、人を感動させられる作家になることです。

依田卓也くん　六郷中3年
具体的な進路は未定です。高校受験をがんばります。

編集後記

記録的な真夏日が続くなか、第3回9月定例議会が開催されました。

決算の審議は、ことの重要性を認識し、質問する側も答える側も、高齢者には安心を、そして若い人には希望が持てるようなまちを思い描いて議論が交わされました。

この議会の様子を、ありのままお伝えできるように心がけて編集しています。

これからも町の皆様に、議会の活動をわかりやすく知らせる「議会だより」にするように努力してまいります。

（記　赤池貞親）

議会広報編集特別委員会

委員長　遠藤　浩
副委員長　青沼　博
委　員　宮崎博已
赤池貞親
小林一史
内田利明